2021年3月某日

差枚	+286枚	RANK	B

実戦機種

ハナビ、バーサス、ディスクアップ、SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ、アイムジャグラーEX

実戦レポート

さて、3月だ。2月はかなり厳しいマイナス収支となってしまったが、最後の戦いはなんとか少しのプラスで終わることができた。その前回の実戦レポートで、6号機ノーマルタイプやジャグラーに対する見解を述べたが、もしかするとその絶好の機会がいきなりやってきたかもしれない。というのもこの日、開店前にホールへ到着すると、入口前に昔から良く知っているパチスロライターの2人が居るではないか。某企画の収録で来たのだという、企画内容を聞けばかなりガチ系寄りで、2人ともノーマルタイプを得意としているので、この収録を当然把握しているであろうお店側の立場を勝手に考慮すると、オレが店長ならノーマルタイプコーナーのどこかに高設定や当りコーナーを必ず作るハズだ。ならば乗るしかない…その流れに！

しかし、いざ入店してみて、お二人がそれぞれ得意とするノーマルタイプ機に散るところを見届けた後、「果たして彼らと同じ機種を打っていいものか？」というオレの中での問題が発生。近くで打ったら、カメラに写り込んでしまうかもしれない。それだけならまだしも、中途半端に彼らと絡んだりすると、編集の都合やメディア的な事情で、スタッフがあまり良い顔をしないかもなぁ…。ってか、同じ機種を打とうとすること自体が、そもそも図々しいと思われはしないだろうか？　などなど、久しぶりに会う2人だったからこそ変にそんなことを考えてしまい、結局は彼らが打っていない機種を順に、「ハナビ」→「バーサス」→「ディスクアップ」と数台ずつ打つこととなった。一応、ところどころでボーナスを引き、各種確率を気にしながら打つも、これといった手応えのある台はなし。「もう少し打たないと分からないな～」程度ならあるっちゃあるが、そんな台を追っていたら、投資金が幾らあっても足りないのである。

道中、同じ戦場で戦う2人と収録の邪魔にならない程度に情報交換もして、どうやらアイムジャグラーEXは手応えアリなこと、それ以外のノーマルタイプには目立った台は見つけられていないことを確認。うーん、じゃあダメっぽいノーマルタイプを意地になって探し回るより、少しだけAT・ART系にも手を出してみるかな。っつって、得意の「バジリスクⅢ」のリセット狙いをしてみたら、最初のARTが予想以上に伸びて伸びて、おまけに鬼哭啾啾を成功させて真瞳術チャンスまで引いてしまうのだから、パチスロってやつは本当に分からない。まぁ、この真瞳術チャンスの1G目にリプレイナビを押し間違えるというこの機種でもっともやってはいけないミスをしてしまったが…ともかく1200枚をゲット。その後、アイムジャグラーEXを打っていた2人が実戦終了するというので、その台をありがたく受け継いだのだが、オレが打ち始めてから台が豹変してボーナスもブドウも全く出なくなったので、プラスのうちにヤメ。うぅむ、これぞB級。